

新潟県議会議員の皆さまに対する公開アンケート結果

12/25 - 1/10の間に県議会議員の皆様へアンケートをお願い致しました。以下は、その結果です。
ご回答下さった議員の皆様、紙面に書き切れない熱い御意見を頂戴し本当にありがとうございました。
皆様の御意見を広く県民にお伝えいたします。そして、この議論が一層高まることを願う次第です。

質問文

Q1.	重大な事案について「住民投票」を実施することをどう思われますか？ *該当する番号に○印をした上で、回答をお選びになった理由などについて、簡潔にご説明ください。 ① 有効と思う ② 有効ではないと思う ③ その他
Q2.	柏崎刈羽原発の稼働に関して「諮問型 県民投票」を実施することをどう思われますか？ *該当する番号に○印をした上で、回答をお選びになった理由などについて、簡潔にご説明ください。 ① 有効と思う ② 有効ではないと思う ③ その他
Q3.	柏崎刈羽原発の稼働について、新潟県民の民意をどのようなかたちで確かめることが妥当と考えられますか？ *簡潔にご意見をお書きください。

回答結果(Q1,Q2の選択肢のみ)

お名前	選出選挙区	会派	Q1	Q2	お名前	選出選挙区	会派	Q1	Q2
高橋直揮	新潟市西区	自民党			帆苅謙治	阿賀野市	自民党		
宮崎悦男	小千谷市	自民党			渡辺惇夫	新潟市東区	自民党		
青柳正司	新潟市北区	自民党			石井修	新発田市北蒲原郡	自民党		
坂田光子	三条市	自民党			東山英機	柏崎市刈羽郡	自民党		
矢野学	上越市	自民党			三富佳一	柏崎市刈羽郡	自民党		
皆川雄二	魚沼市	自民党			星野 伊佐夫	長岡市三島郡	自民党		
小林一大	新潟市秋葉区	自民党			高倉栄	燕市西蒲原郡	民主党		
富樫一成	胎内市	自民党			上杉知之	新潟市中央区	民主党		
佐藤 卓之	三条市	自民党			梅谷守	上越市	民主党		
楡井辰雄	上越市	自民党			大淵健	新潟市西区	民主党		
小島隆	新潟市中央区	自民党			内山五郎	新潟市秋葉区	民主党		
佐藤純	新潟市江南区	自民党			市川政広	新潟市東区	民主党		
桜井甚一	燕市西蒲原郡	自民党			長部登	長岡市三島郡	社民連	①	①
小林林一	上越市	自民党			小山芳元	上越市	社民連	①	①
西川洋吉	長岡市三島郡	自民党			竹島良子	長岡市三島郡	共産党	①	①
岩村良一	新発田市北蒲原郡	自民党			志田邦男	新潟市中央区	公明党	③	③
沢野修	五泉市東蒲原郡	自民党		※1	青木太一郎	新潟市西区	無所属		
斎藤隆景	南魚沼市南魚沼郡	自民党			松川キヌヨ	長岡市三島郡	無所属		
金谷国彦	加茂市南蒲原郡	自民党			佐藤浩雄	新発田市北蒲原郡	無所属	①	①
早川吉秀	見附市	自民党			米山昇	新潟市西蒲区	無所属	①	①
尾身孝昭	十日町市中魚沼郡	自民党			片野猛	村上市岩船郡	無所属	③	③
柄沢正三	長岡市三島郡	自民党			横尾幸秀	妙高市	無所属	③	③
中野洸	佐渡市	自民党			若月仁	南魚沼市南魚沼郡	無所属	①	①
小川 和雄	糸魚川市	自民党			小島 義徳	五泉市東蒲原郡	無所属	③	③
村松二郎	十日町市中魚沼郡	自民党			石塚健	新潟市北区	民主党		
小野峯生	村上市岩船郡	自民党			佐藤 久雄	佐渡市	無所属		※2
					匿名回答者A	※3		①	③

Q1,Q2が空欄の方々は残念ながらご回答がありませんでした。

※1 自民党県議団で統一見解を出しますとのご回答をいただきました。尚、今現在、ご回答を頂けておりません。

※2 無回答である旨を明確に御連絡頂きました。メッセージは次頁ご参照。※3 無記名によるご回答がありました。

お名前は県議会ホームページ上の議員名簿順です。スペースの都合上、敬称を省略させて頂いております。

新潟県議会議員の皆さまに対する公開アンケート結果

回答結果（理由文を含む全回答） 1/2

長部登	Q1.	① 本来は直接民主主義が基本だと思う。しかし、それは広範かつ複雑化する中で物理的に不可能であるため代表を選んで決めていく訳だが、住民の権利や義務など重大なものについては直接住民投票によって決めたり、あるいは判断する為の重要な要因にしたりすべきである。
	Q2.	① 議会は安全性など技術的専門的な観点から総合的に判断をすべきであるが、県民投票の結果は最大限尊重されるべきであると考えている。
	Q3.	福島原発事故であれだけ大きな被害が生じた中、全県で生命、健康、財産、郷土が失われる危険があるかぎり、住民の気持ちを直接聞くことは重要である。福島事故のようなリスクがあっても経済性などのため稼働容認なのか、リスクがあるかぎり許さないのかなど、住民への気持ちを『直接投票』で聞くことが最適な方法であると考えている。
小山芳元	Q1.	① 市民の命や暮らしに関する重要事項について、住民投票という直接民主的手法で補完していくことは、民主主義のあり方として重要な選択肢の一つである。
	Q2.	① 国民の8割が脱原発を望んでいるにもかかわらず、選挙で選ばれた政治家と民意があまりにもかけ離れ、任せることができない政治不信が募っている現状、その溝を埋めて民意をくみ取るためには住民投票は極めて有効である。
	Q3.	柏崎刈羽原発について県民投票を実施することに県民の72パーセントが望んでいるアンケート結果があることから、県議会で門前払いにすることなく十分に議論をつくり、県民投票で民意を再確認することが必要である。
竹島良子	Q1.	① 住民の生活に関わる重大な事項について、住民が直接意見表明したいとするのは当然の思いであり、尊重されるべきものです。結果を行政運営に直接反映させたい思いを議会も重く受け止めるべきと考えます。
	Q2.	① 福島第一原発事故により、一旦原発で事故が起れば、制御する手段も技術も未だ人類は持ち合わせていないことが明らかとなりました。このような中で原発稼働に関して、県民が自らの意思表示をすることは、一人一人がこの問題に真剣に向き合う重要な機会となります。命と安全に関わる問題に対し、県民が意思表示を求め、結果の尊重を要求することは当然のことと考えます。
	Q3.	原発立地県の主権者である県民による住民投票で確かめることがふさわしいと考えます。
志田邦男	Q1.	③ 住民投票は地方公共団体、議会の意思決定の参考として重要なものと考えます。 しかし、住民投票の位置づけ、投票権、対象事項さらには住民投票をする際の討論の場の確保、また選択肢が多岐にわたるような場合に住民の意思をどう判断するのかが明確になっていない。今後住民投票を有効に機能させるためにはこのような疑問点を整備しなければならないと考える。
	Q2.	③ 原発稼働に関しては現在原子力規制委員会が7月をめどに新たな安全基準を提示するとしている。また県技術委員会においても福島事故の独自検証を予定している。さらに県民投票の判断材料として我が国の今後のエネルギー像を示していくことも重要と考える。これらの判断材料が示されていない中での住民投票、また、反対であっても即時絶対反対なのか、条件付き反対なのか、このことが整理されない中での住民投票は県民の意思を正確に捉えられない危険がある。
	Q3.	規制委員会等の基準、国民が十分に判断できる材料が出た時点で、さらに〇×式でなく多様な考えがくみ取れるような形で民意を確かめることが妥当と考える
佐藤浩雄	Q1.	① 福島の原発事故は原発の安全神話を崩壊させ、今も放射能を撒き散らし事故の収束もなく、事故調査も進んでいません。世界一の柏崎刈羽原発構内にも東電発表で22本もあり、事故が発生すれば新潟県は深刻な事態になります。有限な燃料であるウラン燃料はあと20～80年といわれており、その使用済核燃料処理に30万年～100万年かかり、30年後の新潟県民の子供の生命を守るためにも県民一人一人の判断が必要であり、住民投票が必要です。
	Q2.	① 柏崎刈羽原発は中越沖地震で安全設計基準の5.2倍の加速度を受け現在も3つの号基が運転できないほどの深刻なダメージを受けています。 もし原発構内にある22本の断層が動いたら、深刻な事故が発生する可能性も否定できません。まして県民の生命と今後30万年間の県民の生命を守るために県民一人一人が責任を負うために投票でその意思を示すべきです。
	Q3.	柏崎刈羽原発の現状と原発の安全性等の情報を全県民に全て公開した上で、稼働に賛成か反対かを投票で示すべきです。現在原発の情報は全て一部の「原子力村」に握られており真実は国民県民に伝わっておりません。投票の前にすべて公開させる事。運動が必要です。
若月仁	Q1.	① 住民の生命や財産に直結する事案の決定について、行政や議会が直接に意見（民意）を聞く機会となることから。
	Q2.	① 1の設問に同じです。
	Q3.	稼働の是非についての県民投票。

順不同。

スペースの都合上、敬称を省略させて頂いております。

新潟県議会議員の皆さまに対する公開アンケート結果

回答結果（理由文を含む全回答） 2/2

横尾幸秀	Q1.	③ 事案による 間接民主制を否定する場合もある
	Q2.	③ 同上
	Q3.	皆様方の活動(心情も含めて)に深く敬意を表します。 私も原発事故の悲惨な現状に(生活を奪われた方々の将来を)触れ二度と繰り返してはならないと思っています。 しかし現状では知事の考え方等、提案がない状況でのコメントは誠に恐縮ですが明確にできません。
米山 昇	Q1.	① 議員は重大な事案のみで選挙で当選したわけではなく、国民の生命にかかわるような重大な事案であればある程、住民投票を実施すべきと考える。
	Q2.	① 県民の考え方を知るということは稼働再稼働しないにあたっては重要なことであり、拘束力のない県民投票であれば、知事としては大いに参考にすべきと考えます。
	Q3.	県民投票が民意を知るためには最善の方法だと思います。
小島義徳	Q1.	③ 知事の意見がまだ不明確なため現段階では回答いたしかねます。
	Q2.	③ 知事の意見がまだ不明確なため現段階では回答いたしかねます。
	Q3.	知事の意見がまだ不明確であり、使用済み燃料やエネルギー政策に対する国の考えが現段階では不明のため、回答いたしかねます。
片野 猛	Q1.	③ 「重大な事案」とはどのようなものか、その「重大性」によつて考えます。 「住民投票」の結果がどのように効力を持つものかでその「有効性」が変わります。
	Q2.	③ 柏崎刈羽原発の稼働には多くの安全性などの前提があります。その前提条件が明確でなければ県民投票の意義が失われます。「単なるアンケート」では実施する意義はないと思います。まず県民に対して明確な前提条件の提示が必要です。
	Q3.	稼働するには安全性の確保が第一です。安全の確保が提示されその検証を行い、県民の納得が得られることが絶対条件となります。それらの前提条件が十分に理解されているか調査する必要があります。地元自治体としての判断はそのうえで議会が決定すべきものと考えます。 民意の調査については住民意識調査が有効と考えます。
佐藤久雄	無回答	住民自治に燃えて活発に活動されているご努力に対して敬意を表します。 しかしながら、本件は慎重な対応が必要な為、県執行部の考えが提示されていない現段階での私の意見表明は差し控えさせていただきます。 尚、原発に対する私の考えは昨年7月3日の一般質問の通りです。
匿名A	Q1.	① 間接民主主義を補完するシステムとして必要。
	Q2.	③ 知事や議会が県民の民意を代表することに自信が無い、あるいは意見が分かれる場合には有効。日常の政治活動で民意を十分に反映できていれば必要無い。結論が民意を反映していない場合、リコールという手段がある。
	Q3.	様々な形で意見交換会（知事vs県民、議会vs県民、県民vs県民）を開催し、議論を尽くすことが第一歩。

順不同。

スペースの都合上、敬称を省略させて頂いております。